

「過ぎ越しと主の晩餐」

出エジプト記 12章21～32節

1

それから、モーセはイスラエルの長老たちをみな呼び、彼らに言った。「さあ、羊をあなたがたの家族ごとに用意しなさい。そして過越のいけにえを屠りなさい。ヒソブの束の一つ取って、鉢の中の血に浸し、その鉢の中の血を鴨居と二本の門柱に塗り付けなさい。あなたがたは、朝までだれ一人、自分の家の戸口から出てはならない。【主】はエジプトを打つために行き巡られる。しかし、鴨居と二本の門柱にある血を見たら、【主】はその戸口を過ぎ越して、滅ぼす者があなたがたの家に入って打つことのないようにされる。あなたがたはこのことを、あなたとあなたの子孫のための掟として永遠に守りなさい。あなたがたは、【主】が約束どおりに与えてくださる地に入るとき、この儀式を守らなければならない。あなたがたの子どもたちが『この儀式には、どういう意味があるのですか』と尋ねるとき、あなたがたはこう答えなさい。『それは【主】の過越のいけにえだ。主がエジプトを打たれたとき、主はエジプトにいたイスラエルの子らの家を過ぎ越して、私たちの家々を救ってくださったのだ。』すると民はひざまずいて礼拝した。
出12:21-27

2

過ぎ越し

- 過ぎ越しの原因は、ファラオのプライド
- 「主とはいったい何者か」 出5:2
- 「高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ。」 箴言16:18
- パロが神から受けた10のレッスン
- 天地万物を創り、治めているのは、エジプトの神々でも、エジプトの王、ファラオでもない！
- 神はイスラエルの民をエジプトから救い出した。
- 過ぎ越しの祭りは、イスラエルの建国の由来、存在理由、存在の目的を教えてくれる祭りとなった。年に一度の過ぎ越しの食事では過ぎ越しの意味を確認した

3

最後の晩餐と過ぎ越し

- 最後の晩餐は過ぎ越しの食事 マタイ26、ルカ22
- 主イエスは、1500年続いた過ぎ越しの食事を変えて新しい食事にした。(権威と力)
- その新しい食事が主の晩餐！
- 主の晩餐が記念するのは、人類史上最大の出来事＝イエス・キリストの十字架と復活。
- 「キリストは死を滅ぼし、福音によって、いのちと不滅を明らかに示されました。」 2テモテ1:10
- 過ぎ越しの食事も主の晩餐も勝利の祝い。詩114-118の「ハレル」(賛美の歌)を歌った。

4

最後の晩餐と過ぎ越し

- 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えました。すなわち、主イエスは渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげた後それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」食事の後、同じように杯を取って言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。 1コリント11:23-26
- 私たちの過ぎ越しの子羊キリストはすでに屠られたのです。 1コリント5:7

5

過ぎ越しと主の十字架

- 旧約の祭などは影であって、実体はキリストにある。 コロサ2:16-17
- 律法には来たるべき良きものの影はあっても、その実物はありません。 ヘブル10:1
- ご存じのように、あなたがたが先祖伝来のむなし生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、傷もなく汚れない子羊のようなキリストの、尊い血によるのです。キリストは、世界の基が据えられる前から知られていましたが、この終わりの時に、あなたがたのために現れてくださいました。 1ペテロ1:18-20

6

過ぎ越しと十字架

- その翌日、ヨハネは自分の方にイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。ヨハネ1:29
- 黙示録では「子羊」が30回以上も出て来る
- 過越の羊は、傷の無い一歳の雄でなければならない。出エジプト12:5、2コリント5:21
- 骨は折られなかった 出エジプト12:46、民数記9:12、ヨハネ19:36

7

過ぎ越しと十字架

- 新しいこねた粉のまままでいられるように、古いパン種をすっかり取り除きなさい。あなたがたは種なしパンなのですから。私たちの過越の子羊キリストは、すでに屠られたのです。ですから、古いパン種を用いたり、悪意と邪悪のパン種を用いたりしないで、誠実と真実の種なしパンで祭りをしようではありませんか。1コリント5:7-8
- 主の晩餐は私たちが誰であるかを教え、私たちを変える、形成し、成長させる。

8

食事は楽しい親しい関係

- 主の晩餐を単なる宗教儀式にしてしまう傾向
- 「地獄の火のための火災保険」ではない
- お守りやお札のようなものではない
- 神との生きた関係、信仰と親交
- 「のど元過ぎれば熱さ忘れる。」過ぎ越し？
- 主の晩餐は、契約の食事、契約の更新？
- 契約の確認、初心に帰る。

9

食事は生きた関係

- 主が、ことごとく私に良くしてくださったことについて、私は【主】に何をお返ししようか。私は救いの杯をかがげ、【主】の御名を呼び求めよう。私は、自分の誓いを【主】に果たそう。ああ、御民すべてのいる所で、、、私はあなたに感謝のいけにえをささげ、【主】の御名を呼び求めます。私は自分の誓いを【主】に果たそう。ああ、御民すべてのいる所で。詩116:12-18
- 私たちの人生の相手は神である。この方との関係だけが私たちを満たす。他の人からそれを求めることはできない。神との関係から、愛に生きる力と知恵をいただく。(神を愛し、人を愛する)

10

主の晩餐が教えてくれる

- 主の晩餐が示す方向
- 過去、現在、将来(過去に集中?)主は今生きておられる!
- 上と回り(神と兄弟姉妹)(上に集中?)
- 福音の食事、勝利の食事、愛の食事、希望の食事
- 食事は親しい関係の象徴!
- 神が与えようとしておられるもの。神が私たちから求めておられるもの。

11